

特集

キャリアを支援する 赤十字看護専門学校 教員ラダー

ENCOURAGE

病院などで、看護実践能力や管理能力のラダー、コンピテンシーの明示が広がりつつある一方で、教員の教育実践能力を評価し、成長段階でとらえようとする教育機関はほとんどありません。確かに、教育能力を正確に測る、ということは実現が難しいですが、参考となるラダーやコンピテンシーがあれば、自身の教育実践能力を客観的にとらえられ、また他者から教育実践能力を評価され、ポジティブなフィードバックを受けることで、キャリアアップにつながることを期待できます。

日本赤十字社が構築した「看護教員のキャリア開発ラダー」は、すでに導入から3年がたち、所属する多くの教員が認定を受けており、組織全体の取り組みとして、すべてのレベルで認定が進んでいます。また、より良いラダーのための見直しも行っています。

今特集では、看護教員ラダーの概要を改めてご紹介するとともに、認定を受けられること、また評価をすることが、自身の教員としてのキャリアにどのような影響があったのか、体験から語っていただきました。

多くの教育機関で、継続研修の指標に、また教員のキャリア支援の一環として、ラダーの設定が教員たちにどのような影響を与えるか、今特集が参考になることを願っています。